

# ハバロフスク案内



2017年11月  
在ハバロフスク日本国総領事館

## —目次—

|     |                   |    |
|-----|-------------------|----|
| 1   | ハバロフスク概要          |    |
| (1) | 位置                | 4  |
| (2) | 沿革                | 4  |
| (3) | 気候                | 4  |
| (4) | 人口・面積・民族          | 5  |
| (5) | 言語                | 5  |
| 2   | 交通機関              |    |
| (1) | ハバロフスクへのアクセス      | 5  |
| (2) | ハバロフスク空港          | 5  |
| (3) | ハバロフスク駅           | 5  |
| (4) | 船着き場(レチノイ・バクザール駅) | 6  |
| (5) | 市内の交通機関           | 6  |
| (6) | 注意事項              | 6  |
| 3   | 衛生・健康             | 6  |
| 4   | 治安情勢              | 7  |
| 5   | 史跡・名所案内           | 8  |
| 6   | エンターテインメント        | 11 |
|     | 【付録】              |    |
| (1) | 主要ホテル案内           | 13 |
| (2) | 主要レストラン案内         | 14 |

※掲載情報は2017年11月時点のものです。変更があった場合にはご了承ください。

# ハバロフスク市内略図

凡例 H:ホテル R:レストラン  
B:銀行 M:博物館  
T:劇場 S:店舗  
C:カフェ



# 1 ハバロフスク概要

## (1)位置

ハバロフスクはアムール川(黒竜江)とウスリー川のほぼ合流地点に築かれた極東ロシアを代表する都市である。東経135度(明石市と同じ)、北緯48度(稚内市が約45度)に位置する。ハバロフスクと日本の時差は、ハバロフスクが日本より1時間先行する(2014年より常時冬時間を適用)。

ハバロフスクとモスクワの時差は、年間を通じてハバロフスクが7時間先行する。



## (2)沿革

ハバロフスクの名は、1649年に当地を訪れた探検家エロフェイ・ハバロフに由来する(当初、「ハバロフカ」と命名されていたが、1893年からは現在の「ハバロフスク」という名称になった)。1858年5月28日にロシア帝国と清国との間でアイグン条約が締結され、アムール川がロシアと清国の国境となり、ネルチンスク条約(1689年)で清国に編入されたアムール川左岸がロシア領土となった。1858年5月31日、アムール川沿いにハバロフカ国境警備所が設置されたことを契機に都市の建設が始まり、1860年の北京条約によりウスリー川東岸(ウラジオストクを含む現在の沿海地方)がロシア領となった。また、1918年のシベリア出兵時には当地に日本軍司令部が置かれた。

ソ連時代は新潟－ハバロフスク便が日本と極東ロシアを結ぶ唯一の航空路線であった。また、日本海に面しているナホトカ港から入国し、シベリア鉄道でハバロフスクを経由して、当地からロシア国内各地へ鉄道や飛行機で移動することも多かった。このように、ハバロフスクは極東経由でソ連を訪れる外国人の関所のような役割を有していた。

2000年5月13日、プーチン大統領(当時)は大統領令によりロシア全土を7つの連邦管区に分ける連邦管区制を導入し、極東連邦管区の大統領全権代表部はハバロフスクに設置され、ハバロフスクは名実ともにロシア極東の首都となった。

現在、ハバロフスク市は新潟市(1965年～)、ポートランド市(米国、1988年～)、ビクトリア市(カナダ、1990年～)、ハルビン市(中国、1993年～)、富川市(韓国、2002年～)、三亜市(中国、2011年～)、清津市(北朝鮮、2011年～)の7都市と姉妹都市関係にあるほか、ハバロフスク地方も新潟県、兵庫県、青森県、鳥取県といった日本海側の各県と交流関係にある。

2017年5月31日にハバロフスク市は市政159周年、同年10月20日にはハバロフスク地方が79周年を迎えた。

## (3)気候

(ア)ハバロフスク地方の気候は典型的な大陸性の亜寒帯気候である。冬は極度に乾燥し寒く、夏は蒸し暑い。1月の平均最低気温は-23.5℃で、7月の平均最高気温は26.6℃と、夏冬の平均気温差が50度以上ある。昼夜の気温差も大きく、服装には充分気をつける必要がある。なお、平均気温が0度を超える年間平均日数は159日(4月から10月中旬まで)である。年間平均降水量は682mmと少ない(東京都は1466mm)。特に冬季は降雨量が極端に少なく、乾燥した日が続く。7月、8月の降水量は東京都とほぼ同じだが、短時間の局地的な降雨が多い。初雪は10月第1週頃である。本格的な雪は11月初旬に始まり、4月中旬頃まで続く。

(イ)年間平均日照時間は2449時間と長い(東京都は1847時間)。6月の日照時間は260時間に達し、最短の12月でも141時間と、冬季に曇天の日が多いモスクワ等の他都市と比べて非常に長い。



## ハバロフスクの気温

| 月      | 1月    | 2月    | 3月    | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月   | 12月   | 年    |
|--------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|
| 平均最高気温 | -15.7 | -10.7 | -1.5  | 10.4 | 18.6 | 23.9 | 26.6 | 24.8 | 19.1 | 10.0 | -3.1  | -13.5 | 7.4  |
| 平均最低気温 | -23.5 | -19.7 | -11.0 | 0.1  | 7.1  | 13.0 | 16.8 | 15.9 | 9.2  | 1.0  | -10.6 | -20.6 | -1.9 |
| 降水量    | 14    | 11    | 22    | 44   | 61   | 72   | 133  | 153  | 79   | 50   | 26    | 17    | 682  |

### (4)人口・面積・民族

ハバロフスク市の人口は約61万人、面積388km<sup>2</sup>(福岡市と同程度)、ハバロフスク地方全体では人口約133万人、面積78万km<sup>2</sup>(日本の2倍強)である(2017年1月、ハバロフスク地方統計局)。

住民の多くはロシア人であるが、ウクライナ人、ベラルーシ人、タタール人、他にもナナイ人などの北方系少数民族や、朝鮮人などのアジア系住民もいる。

ハバロフスク地方に長期滞在する在留邦人は50人程度で推移している。

### (5)言語

公用語はロシア語。空港やホテルなど観光客が集まる場所では簡単な英語が通じることが多い。

## 2 交通機関

### (1)ハバロフスクへのアクセス

2012年春より成田—ハバロフスク間の直行便が就航し、2017年11月現在、シベリア航空(S7)(火・日曜日)が直行便を運行している。

その他、日本からハバロフスクへは仁川空港(ソウル)、北京空港、ウラジオストク空港及びユジノ・サハリンスク空港経由でアクセスすることができる。

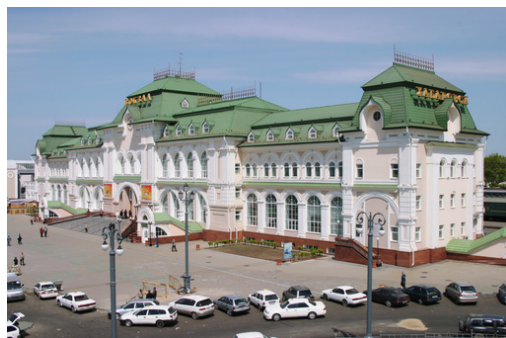
ハバロフスク空港はモスクワとの間で毎日直行便がある他、国内の主要都市と国内線で結ばれている。また、ウラジオストクを起点とするシベリア鉄道の通過地点であり、ウラジオストクから夜行列車にて一晩かけてハバロフスク入りすることも可能である。

### (2)ハバロフスク空港

ハバロフスク空港は国際線ターミナルと国内線ターミナルに分かれており(それぞれのターミナルは約400m離れている)、またカートも設置されていないため大きな荷物がある場合は移動がやや困難である。国際便で到着の場合、まず入国審査所で旅券を提出する。旅券情報に基づき出入国管理官が出入国カードを作成するので、2箇所サインをする。審査が終わると旅券と出入国カードの半券が返却され、その後預け荷物を受け取り、税関審査を経て空港から出ることができる。出入国カードの半券はロシア出国時に回収されるので、紛失しないように留意する。

### (3)ハバロフスク駅

1897年の開駅以来、シベリア鉄道の極東における中心的な駅として発展してきた。2000年3月より大規模改修工事が進められ、2007年に現在の建物と駅前広場が完成した。駅前広場には、ハバロフスク名前の由来となった探検家エロフェイ・ハバロフの銅像がある。



ウラジオストク駅へは「オケアン号」や「ロシア号」で1晩、モスクワのヤロスラブリ駅までは「ロシア号」で6泊7日かかる。その他、コムソモリスク・ナ・アムール駅やビロビジャン駅など、近郊都市へ路線が広がる。

車両の種類により異なるが、リュックス(2人部屋)、クペー(4人部屋)、プラツカルタ(大部屋)の各クラスがある。ウラジオストク駅までクペーを利用する場合、概ね片道3000ルーブル程度である。

#### (4)船着き場(レチノイ・ヴァクザール駅)

シェフチェンコ通りとウスリースキー並木通りの交差する場所に、船着き場(レチノイ・ヴァクザール駅)がある。ここから、アムール川遊覧船の他、中国やアムール川下流の都市へ行く旅客船が発着する。遊覧船は昼から夜中まで概ね1時間毎に運航しており、昼間は1時間の遊覧、夜は1時間半の遊覧が行われる。料金は、350ルーブル。チケットは船内で購入する。冬場は川が凍結するため運航は夏期のみとなっている。

#### (5)ハバロフスク市内の交通機関

##### (ア)公共交通機関

現在、ハバロフスク市内には公共交通機関としてバス、トロリーバス、路面電車、マルシュルートカ(乗り合いバス)が運行している。運賃は22～30ルーブル(2017年11月現在)で、車内で支払う。フロントガラスには路線番号が書いてあるので、目的地を経由する路線番号を覚えておくとう便利(例えば、空港とコムソモリスカヤ広場間は1番トロリーバス、60番マルシュルートカが運行)。なお、路線番号を覚えていない場合でも、乗車口に行き先や主な経由地が書いてあるので、それを参照しながら乗車してもよい。最近ではスマートフォンアプリでも簡単に調べられる。

##### (イ)タクシー

タクシーを利用する際は、あらかじめ電話又はスマートフォンアプリで予約する。現在地と行き先を告げると、運賃や迎えに来る車種などを電話又はメッセージで事前に伝えてくれるので、安心して利用することができる。不用なトラブルを避けるためにも、流しのタクシーや白タクを利用するのは控えた方がよい。なお、当地では正規タクシーよりも白タクの方が高価である。参考までに、市内中心部の移動であれば正規タクシーでは150～250ルーブル、中心部から空港までは350ルーブル程度である。

#### (6)注意事項

当地の交通事情は「自動車優先」と心得るべきである。信号を信用しすぎず、道路を横断するときは車の往来に注意する。特に冬季は道路が凍結し、歩行者の注意が足下に向かい車の動きまで把握しにくくなり、また車も急ブレーキがかけられないので、道路を歩く際は特に注意が必要である。

### 3 衛生・健康

ハバロフスクでは水道水は飲料に適さない。ミネラルウォーターは市内スーパーやキオスクで35ルーブル程度(0.5L)で簡単に入手できる。生鮮食品や加工食品の品質管理状態は決して良いとは言えない場合もあるため、特に夏場には食中毒に注意を要する。

当地の風土病として、ダニ媒介性ウイルスを保有したマダニに刺されて感染するダニ脳炎がある。この病気に感染すると最終的には脳が冒され、死亡することもある。春から夏にかけて、市内の樹木が密集した場所(並木通りや公園)にも、ダニがいる可能性がある。郊外のダーチャ(別荘)やキノコ狩りにいく際には、肌が露出しな

い服装を心掛けるほか、ダニが身体についていないか適宜チェックする。万一、ダニが身体についているのを発見したら、自分で無理に取ろうとせず、医療機関に赴き摘出してもらう。

冬季は屋内が大変乾燥するため、肌荒れや上気道炎等の症状が出やすいので注意する。真冬の屋外はマイナス20度以下となることも多く、外出する際には入念な防寒対策が必要である。なお、頭部の凍傷防止以外に道路での転倒事故も考慮し、冬場は帽子の着用を絶対に忘れないよう留意する。

当地の病院では日本人にとって必ずしも満足のいく治療が受けられないため、緊急時以外は日本に帰国してから治療を受ける方が良い。なお、当地には外国人を対象とした病院・診療所はない。支払はルーブル現金のみ、言語も通常ロシア語のみとなる。

## 4 治安情勢

当地内務総局発表によると、2016年のハバロフスク地方の犯罪登録件数は27,008件（前年比13%減）であり、殺人や強盗などの凶悪事件もしばしば発生している。2013年には、邦人を被害者とする強盗事件が2件（内1件は銃器使用）発生した。2017年4月には、ネオナチ信奉者によるハバロフスク市内の連邦保安庁施設に対する襲撃事件が発生しており、テロ等の緊急事態が発生する可能性も否定できない。

また、当地を含む極東・シベリア地域は、大麻や合成麻薬など違法薬物の押収事案や薬物中毒者が関与する犯罪など薬物事件の発生件数が非常に多い。

過去5年間のハバロフスク地方の犯罪登録件数は以下のとおり。

|       |         |
|-------|---------|
| 2012年 | 26,534件 |
| 2013年 | 28,465件 |
| 2014年 | 29,598件 |
| 2015年 | 30,946件 |
| 2016年 | 27,008件 |

こうした犯罪に巻き込まれることのないよう、夜間早朝の外出や単独行動を極力避ける、外出時は周囲に不審人物がいないか気を配る、多額の現金や貴重品を持ち歩かない等、日常の行動には充分注意を払い自己防衛に徹する必要がある。

駅、空港、ホテル、レストラン、観光名所等では、外国人を標的とした犯罪が多く発生しているので、こうした場所では特に注意を要する。

当地では一般的に対日感情は良好であるため、スキンヘッド、ネオナチ等による人種的・民族的な理由での日本人を標的とした犯罪や事件は報告されていない。他方で、中国人、朝鮮人等のアジア系外国人に対する排他的な偏見は根強く、邦人が巻き添えになる可能性も否定できないため、安全対策には万全を期す必要がある。

### ※緊急連絡先

・在ハバロフスク日本国総領事館

RUSSIA, 680000, Khabarovskiy krai, Khabarovsk, Turgeneva str. 46

Tel: 7-4212-41-30-44/41-30-45/41-30-46(9:00～12:30, 13:30～17:45)

緊急: 8-914-777-5574(上記時間以外の緊急時)

Fax: 7-4212-41-30-47

・消防: 101      ・警察: 102      ・救急: 103      ・緊急総合: 112

## 5 史跡・名所案内

ハバロフスクの市街はさほど大きくない。おもな中心部の見所は1日あれば充分見学することができる。市内の道路はほぼ碁盤の目状に整備されており、道に迷ったとしても位置関係を把握しやすい。

アムール川に面したコムソモリスカヤ広場と中心部のレーニン広場はハバロフスクのメインストリートであるムラヴィヨフ・アムールスキー通りにより結ばれている。中央百貨店など多数の商店、レストラン、カフェはこの通りに集中している。ムラヴィヨフ・アムールスキー通りはレーニン広場につきあたった地点でカール・マルクス通りと名称が変わり、ハバロフスク空港まで続いている。



ムラヴィヨフ・アムールスキー通りと平行して丘の上をセルィシェフ通りとレーニン通り、及びその間をアムールスキー並木通りとウスリースキー並木通りが並ぶ。これらの通りにもスーパーや飲食店が多数ある他、並木通りでは散歩やジョギングも楽しめる。

### ・アムール川（река Амур）

アムール川（中国名：黒竜江）は全長4,444km（世界第10位）を誇る（出典：国立天文台「理科年表」（平成24年度版））世界有数の大河川の一つである。ロシア極東地域と中国東北地方の黒竜江省との境界であるこの河川は、オホーツク海の間宮海峡に注ぐ。

夏には岸边で日光浴、夕刻は遊覧船にて夕涼みをするのもおすすめ。冬には完全に凍結し、氷上で穴釣りをたのしむロシア人の姿は冬の風物詩となっている。近年は中国の工業廃水による汚染が問題となり、2006年から2010年までアムール川での遊泳は禁止されていた。

川沿いには「文化と憩いの中央公園」がひろがり、ウチョース（「絶壁」の意味）とよばれる展望台からは年間を通じて壮大なアムール川の眺めを堪能することができる。また、周辺には郷土史博物館、極東美術館、東部軍管区軍事・歴史博物館、街を創設した元シベリア総督ムラヴィヨフ・アムールスキーの銅像、レチノイ・バクザール駅（「川の駅」の意味）、探検家で要塞を築いたディヤチェンコ大尉の銅像などの名所が点在している。

### ・コムソモリスク広場とウスペンスキー聖堂（聖母昇天聖堂）

（Комсомольская площадь и Успенский собор）

ムラヴィヨフ・アムールスキー通りの西端にはハバロフスクで最も古い聖堂広場とウスペンスキー聖堂が建っていたが、スターリン時代の宗教弾圧により破壊された。その後、コムソモール（共産主義青年同盟者）の手で広場が再建され、コムソモリスク広場と命名された。2001年、昔の設計図を基にウスペンスキー聖堂（聖母昇天聖堂）が復元された。

聖堂内部にはイコンが装飾されている。内部の写真撮影は禁止されている。

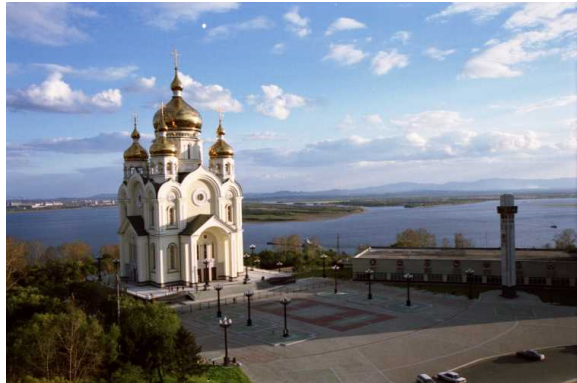




### ・栄光広場とスパソ・プレオブラジェンスキー聖堂(キリスト変容聖堂)

(Площадь Славы и Спасо-Преображенский собор)

栄光広場はアムール川を臨む小高い丘に位置する。上の広場と下の広場にわかれており、上の広場には2005年に完成したロシアで3番目の高さを誇る(70m)のスパソ・プレオブラジェンスキー聖堂(キリスト変容聖堂)がある他、戦勝30周年記念の勲章受章者名が刻まれたモニュメントが聳え上がっている。



下の広場にはファシスト・ドイツに対する戦勝40周年を記念した慰霊碑があり、その前には戦没者を偲ぶ「永遠の火」が燃えている。2004年、アフガン戦争とチェチェン戦争時に亡くなった兵士達を偲ぶ慰霊碑も建てられた。

### ・イノケンチエフスカヤ教会

(Иннокентьевская церковь)

レーニン・スタジアム近くに位置するハバロフスクで現存する最も古い教会。1868年に木造教会として建築され、20世紀初頭に現在の姿になった。1917年の10月革命以降、長い間プラネタリウムとして使用されてきたが、イシャエフ・ハバロフスク地方知事(当時)の尽力により復元された。



### ・レーニン広場 (Площадь Ленина)

広場の東側にレーニンの銅像、中央に噴水があり、広場を囲むようにしてハバロフスク地方政府庁舎や極東医科大学等がある。

毎年5月9日には対独戦勝記念日を記念した軍事パレードが盛大に行われ、また5月下旬にはハバロフスク市開基記念の祝賀パレードが開催され、多くの市民や観光客が訪れる。1月の上旬にはヨルカ(「エゾマツ」の意味)祭が行われ、冬季は氷彫刻も展示される。夏も冬もハバロフスク市民や観光客でにぎわう場所となっている。

### ・極東美術館 (Дальневосточный художественный музей)

イコン(ロシア正教の聖人画)をはじめ、レーピンやレヴィタン、シーシュキン、アイバゾフスキーなどロシア絵画を代表する画家の作品や彫刻の他、イタリア、フランス等のヨーロッパ絵画も展示されている。

1階には土産物店「ダリアート」があり、マトリョーシカやソ連時代のピンバッジの他、ソ連製のカメラも販売されている。

### ・郷土史博物館 (Хабаровский краевой музей им. Гродекова)

インツォリストホテル付近にある赤レンガの建物が郷土史博物館。本館1階には天然の鉱物、カルーガ(アムール川のチョウザメ)、動物や鳥の剥製などが展示され、さながら動物学博物館のようである。

2階には北方少数民族の民族衣装や生活・宗教上の用品などが展示されている。2008年9月には、極東地域の歴史(極東開拓)やロシア革命に関する展示、水槽による魚の展示

のある新館がオープンした。

・考古学博物館（Хабаровский музей археологии）

ハバロフスク・沿海地方の古代歴史に関する展示物が揃っている。館内には古代の生活を再現したコーナーがあり、道具のレプリカ等を実際に手に取ることができる。また、博物館入口前には、岩石絵のレプリカが展示されている。

・東部軍管区軍事・歴史博物館

（Военно-исторический музей Краснознаменного Дальневосточного военного округа）

極東美術館の向かい側にある博物館。極東開拓時代からロシア革命、第二次世界大戦、現代に致たるまで紹介されている。3階には日本のシベリア出兵に関する展示がある。屋外には戦車や戦闘機も展示されている。

・日本人墓地（Кладбище японских граждан）

市街からハバロフスク空港に向かう途中にある広大な墓地の一角に日本人墓地がある。ここには第二次世界大戦後ソ連に抑留され、過酷な労働と厳しい気候のため亡くなった310名の日本人抑留者の墓と慰霊碑がある。墓地の入口付近では花を販売している（菊1本100ルーブル程度）。

・平和慰霊公苑（Мемориальный парк мира）

市内中心部から北へ車で約20分程度の所に位置する約15,000㎡の広大な敷地に、1995年、シベリア抑留中に亡くなった日本兵約55,000人を弔うために、日本政府は国の事業として慰霊碑を建立した。また、同慰霊碑に隣接する敷地に財団法人太平洋戦争戦没者慰霊協会が菊竹清訓氏設計で平和慰霊公苑を建設し、ハバロフスク市に寄贈した。同公苑内には他に、1982年に建立されたシベリア戦没者慰霊碑などがある。



2010年11月、夏冬の気温差が最大70℃以上の当地の大変厳しい気候により劣化した慰霊碑の補修工事が行われた。

・文化と憩いの公園（Парк культуры и отдыха）

シェフチェンコ通りとアムール川に沿って広がり、夏季は砂浜での日光浴や散歩を楽しむ人で溢れるハバロフスクを代表する公園。第二次世界大戦後の公園整備作業にはシベリア抑留者が関わった。ウチョース（「絶壁」の意味）と呼ばれる展望台からはアムール川の雄大な景色が臨める。

・アムール大橋（Амурский мост）

中心部から北へ約4kmの所に位置する、全長約2.6kmの重層式の架橋。1916年、アムール川を挟んだ兩岸をつなぐ鉄橋の完成をもってシベリア鉄道全線が開通した。1990年代より大規模改修工事が始まり、ロシアで唯一の重層式自動車・鉄道兼用鉄橋となった。橋の東側にはアムール大橋歴史博物館が2008年オープンし、橋に関する展示の他、屋外には旧鉄橋の一部も保存されている。



・大ヘフツィール国立自然保護区 (Большехехцирский заповедник)

1963年、中心部から南へ約20kmに位置するヘフツィール山脈の約4.5万ヘクタールの広大なタイガ原生林地帯に設定された自然保護区。絶滅危惧種のアムール・タイガーやツキノワグマの他、多様な動植物が生息している。

## 6 エンターテインメント

### (1) サーカス・劇場

・ハバロフスク国立サーカス (Хабаровский цирк)

ハバロフスク市南部のガガーリン公園内に2001年にオープンした。一部の時期を除いて通年で公演が行われている。チケットはサーカス内窓口若しくは市内映画館「ソフキノ」で購入可能である。

・極東フィルハーモニー (Хабаровская краевая филармония)

極東美術館に隣接している建物で、第二次世界大戦後、日本人抑留者が建設に携わった。シーズン中(10月～翌年5、6月頃)はハバロフスクの極東交響楽団の他、国内外よりゲストを招待してコンサートを行っている。

・ハバロフスク地方音楽劇場 (Хабаровский краевой музыкальный театр)

カール・マルクス通りにある大型劇場でミュージカルやバレエの出張公演が行われている。また、フォーラム会場として用いられることもある。

・トリアーダ劇場 (Театр ТРИАДА)

1975年に創設されたやや小規模な劇場である。

・ハバロフスク地方人形劇場 (Театр кукол)

1997年に創設された新しい劇場。客席数は70席である。

・ドラマコメディ劇場 (Хабаровский краевой театр драмы)

演劇専門の劇場としては極東最大級でロシアの他都市からの公演も盛んに行っている。

### (2) ボーリング、ビリヤード

・ツェッペリン (Zeppelin)

レーニン通りとレニングラーツカヤ通りの交差点にあるボーリング場。大規模ショッピングモールが隣接しており、休日は混雑する。

・アブリコーリ (Абриколь)

ボーリング場とビリヤード場のある郊外の複合レジャー施設。ツェッペリンより新しい。

・インツォーリストホテル地階 (Интурист)

ビリヤード台が8台ほどある。混雑している場合は、併設されているバーで順番待ちも可能である。

・バリシャヤ・メドヴェージツァ (Большая Медведица)

市内中心部から車で15分ほどのショッピングセンター5階にあるボーリング場。ビリヤード台もある。

### (3)ショッピング

市内の土産店では、ロシアの代表的な土産であるマトリョーシカをはじめ、ロシアのどの家庭にもひとつはあるとされているグジェリの陶器、琥珀のネックレス等様々な土産が手に入る。その他、ハバロフスク郊外に居住する少数民族の伝統的な工芸品（動物の毛皮でできたネックレス、ブローチ、シャーマニズムの儀式に使用する仮面等）も販売されている。

・**NKシティー** (НК сити) ул. Карла-Маркса 2, カールマルクス通り 2

カール・マルクス通りにある大型ショッピングセンターで1階のスーパーマーケットは、日本食品の品揃えが豊富で、9時から23時まで営業している。衣類、CD、スポーツ用品、携帯電話等を扱う店舗が多く、ロシアの日常生活垣間見ることができる。6階には映画館がある。

・**ラードスチ** (Радости) ул. Ким Ю Чена 44, キムユーチェン通り 44

NKシティーの向かいにあるショッピングセンターでカフェ、衣類店、雑貨店等が揃い若者で賑わう場所となっている。4階には映画館とゲームセンター、5階にはフードコートが入っている。

・**ロータス** (Лотос) ул. Муравьева-Амурского 7, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 7

ムラヴィヨフ・アムールスキー通りにあるショッピングセンターでNKシティーよりは小規模ながらも、1階にはロシア土産を販売する店舗や琥珀専門店がある。

・**タイヌィ・レメースラ** (Тайны ремесла)

ул. Муравьева-Амурского 17, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 17

ロシア土産が豊富に揃う土産店である。特にハバロフスク近郊に居住する少数民族ゆかりの土産を豊富に取り揃えている。営業時間は10時～19時。

・**中央市場** (Центральный рынок) ул. Льва Толстого 19, リヴァ・トルストヴァ通り 19

野菜や果物、肉、魚、乳製品、お土産、毛皮の帽子等なんでも揃う活気のある市場で2016年3月には日本企業資本によりハバロフスクで栽培された新鮮で安全な野菜の直営店がオープンした。市場内外ではスリが多発しているので注意する。

・**ナ・プーシキナ** (На Пушкина) ул. Льва Толстого 19, リヴァ・トルストヴァ通り 19

2016年に中央市場隣にオープンしたショッピングセンターで、地下1・2階、地上2階が駐車場、地上1階・3～4階が店舗、5階がフードコートである。ハバロフスク初出店となる家電量販店や洋服のチェーン店が入っている。



## 付録

### (1) 主要ホテル案内

#### ・インツーリスト (Интурист)

Амурский бул. 2, アムール並木通り 2  
Tel:31-23-13(代表)/32-22-92(客室呼出)

川に面した部屋からアムール川の眺望を楽しむことができる。ドル・円からルーブルへの交換が可能である。ロビー階にはホテルと同系列の旅行会社「イントゥール」のカウンターがあり、航空券・鉄道チケットの手配、ツアーの申し込みができる(日本語可)。ホテル内には、ロシア・ヨーロッパ料理店「インツーリスト」日本料理店「ユニハブ」、韓国料理店「コリア・ハウス」がある。

#### ・パルス (Парус)

ул.Шевченко 5, シェフチェンコ通り 5  
Tel:32-72-70

かつての迎賓館を改装した国家元首等も宿泊する市内最高級ホテルで会議室、ビジネスセンターも揃っている。

#### ・ソプカ (Сопка)

ул. Кавказкая 20, カフカスカヤ通り 20  
Tel:90-51-45

2016年8月にオープンした高級ホテルで、1階にヨーロッパ料理レストラン及び雰囲気の良いカフェがある。2017年11月に「プレスティージュ」から「ソプカ」に名称を変更した。

#### ・ヴェルバ・ホテル (Вербa)

ул. Истомина 56a, イストーミン通り 56a  
Tel:75-55-53

2016年12月にオープンしたハバロフスク初のエコスタイルホテルで、リラックスできる客室の内装が特徴である。1階にはロシア料理のペリメニが名物のカフェバー「ムカー」を併設している。日本語を話すスタッフがいる。

#### ・ハバロフスク・シティ (Хабаровск Сити)

ул.Истомина 64, イストーミン通り 64  
Tel:76-76-76

比較的新しいブティックホテルでロシア・西欧料理を提供するレストラン、バー、会議ホールなどがホテル内にある。

#### ・サッポロ (Саппоро)

ул.Комсомольская 79, コムソモリスカヤ通り 79  
Tel:30-67-45

赤レンガの古い建物を改修した入口はムラヴィヨフ・アムールスキー通りからコムソモリスカヤ通りへまがったところにある。1階にはサウナもある。

#### ・アムール (Амур)

ул.Ленина 29, レーニン通り 29  
Tel:22-12-23

近年改装し、外装内装共に美しくなった。1階にはロシア料理レストラン「アムール」もある。

#### ・ハバロフスク (Хабаровск)

ул. Волочаевская 118, ボロチャエフスカヤ通り 118  
Tel:42-02-21

スターリン時代の建物を改修し、2005年にオープンしたホテルである。エレベーター等はなく、小さなホテルだが、内装は綺麗。1Fには西欧料理、アゼルバイジャン料理を提供する「ハバロフスク」レストランがある。

- ・ザリヤ (Заря) ул.Ким Ю Чена 81, キム・ユー・チェン通り 81  
Tel:32-70-75  
キム・ユー・チェン通りとウラジオストク通りの交差点にあるホテル。

## (2) 主要レストラン案内

### ロシア・CIS諸国料理

- ・ルースキー (Русский) Уссурийский бул. 6, ウスリー並木通り 6  
Tel:30-65-87

ロシア料理レストラン。店内の内装が凝っており、ロシアの田舎小屋風になっている。  
20:00～はロシア民謡・歌曲の生演奏がある。平日はビジネスランチを提供している。

- ・パルス (Парус) ул.Шевченко 5, シェフチェンコ通り 5  
Tel:64-95-12

ホテルパルス内にあるロシア料理レストラン。英語メニューもあり。

- ・カバチョーク (Кабачок) ул.Запарина 84, ザパーリン通り 84  
Tel:60-03-77

田舎風の内装のウクライナ料理レストラン。平日にはビジネスランチを提供している。

- ・バクー (Баку) ул. Востречева 19a, ヴォストレツェヴァ通り 19a  
Tel:32-71-33

ウスリースキー並木通りの噴水近くにあるアゼルバイジャン料理レストラン。料理、サービス共に良い。

- ・マラケシュ (Марракеш) ул. Волочаевская 124, ヴォロチャエフスク通り 124  
Tel:47-79-87

ウスリースキー並木通りにあるウズベキスタン料理レストラン。

- ・サツィヴィ (Сациви) ул. Фрунзе 53, フルンゼ通り 53  
Tel:65-31-23

手頃でおいしいグルジア料理レストラン。サービスも良い。

- ・イロン・カビス (Ирон Кабис) Амурский бул. 56a, アムール並木通り 56a  
Tel:45-17-71

オセチア・パイがおいしく、インテリアもおしゃれなオセチア料理レストラン。  
宅配サービスもあり。

- ・ムカー (Мука) ул. Истомина 56a, イストーミン通り 56a  
Tel:61-61-15

ヴェルバ・ホテル1階にあるカフェ・バー。ロシア料理のペリメニが手軽に楽しめる。店名はロシア語で「小麦粉」を意味する。

## 日本料理

- ・HANAMI (Ханами) ул. Тургенева 68, ツルゲーネヴァ通り 68  
Tel:77-60-68

2016年7月にオープンした日本料理レストラン。日本企業が経営しており、本格的な日本食が楽しめる。

- ・**ユニハブ** (Юнихаб) Амурский бул. 2, アムール並木通り 2  
Tel:31-23-15

インツーリストホテル11階にある日本料理レストラン。個室もある。

- ・**イポンスキー・パミドール** (Японский помидор)  
ул. Ким Ю Чена 44, キムユーチェン通り 44  
Tel:46-10-50

ショッピングセンター「ラードスチ」5階に位置するピザとラーメンを楽しめるレストラン。  
日本の製麺機を用いて作ったラーメンがおいしい。ピザの種類も豊富。

- ・**東京ストリート** (Tokyo street) ул. Калинина 76, カリーニン通り 76  
Tel:94-44-89

ロールや刺身の他、カレーライスなどの食事にも豊富にある。自宅への配達サービスもある。

## 韓国・中国料理

- ・**コリア・ハウス** (Корея Хаус) Амурский бул. 2, アムールスキー並木通り 2  
Tel:31-22-34

インツーリスト・ホテル地階にある韓国料理レストラン。

- ・**香港** (Гонконг) ул. Муравьева-Амурского 4, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 4  
Tel:31-18-28

コムソモリスカヤ広場にある中華料理レストラン。

- ・**コリア** (Корея) ул. Кооперативная 3а, コオペラチヴニー通り 3а  
Tel:66-22-23

韓国料理レストラン。味、インテリア共に本格的である。  
ショッピングモール「エネルゴ・プラザ」フードコート内にも店舗がある。

- ・**マーリンカヤ・コリア** (Маленькая Корея) ул. Ленинградская 93, レニングラーツカヤ通り 93  
Tel:66-22-25

鉄道駅方面にある、本格的な韓国料理を味わえるレストラン。

- ・**パンチャン** (Панчан) ул. Муравьева-Амурского 3а, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 3а  
Tel:67-16-97

コムソモリスカヤ広場近くのレンガ造りの建物3階にある韓国料理レストラン。自分で焼けるサムギョブサルがある。

- ・**エベレスト** (Эверест) ул. Запарина 82, ザパリン通り 82  
Tel:66-22-55

味、雰囲気ともに良い中華料理レストラン。

- ・**ドラコン・アジア** (Дракон Азии) ул. Владивостокская 22, ウラジオストクスカヤ通り 22  
Tel:7-914-776-4112

創業 10 年以上の中華料理。東北・上海・北京・広東・四川料理とメニューは多彩である。

## ヨーロッパの料理

- ・**ビアハウス** (Бир Хаус) ул. Муравьева-Амурского 9, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 9  
Tel: 31-18-45

市内中心部にあるドイツ料理レストラン。ビール、ソーセージ等の種類が豊富である。

- ・**ビアフェスタ** (Бирфест) ул. Запарина 92, ザパリン通り 92  
Tel: 74-98-26

大人数を収容する、セルフサービス式のビアホール。  
店内には自家製ビールの醸造所がある。

- ・**グスタフ・グスタフ** (Густав и Густав) ул. Держинского 52, デルジンスキー通り 52  
Tel: 79-90-09

自家製ビールを提供しているドイツ料理店。店内のオープンキッチンでは、日本式の餃子も焼いている。週末の夜には生演奏が楽しめる。

- ・**ムスカートニー・キット** (Мускатный кит) ул. Муравьева-Амурского 22, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 22  
Tel: 93-07-70

ベーカリー併設のイタリア料理店。店内は大変おしゃれ。英語メニューがある。

- ・**モナカフェ** (Мона кафе) ул. Муравьева-Амурского 11, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 11  
Tel: 61-02-33

寿司、刺身、日本酒等の日本料理も提供されるおしゃれなレストラン。ステーキがおいしいと評判である。

- ・**テラッサ** (Терраса) ул. Держинского 39/1, デルジンスキー通り 39/1  
Tel: 41-54-15

春～秋にはテラスで食事ができるレストラン。生パスタとデザートがおいしい。

- ・**ブドロヴァ** (В дрова) ул. Муравьева-Амурского 15, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 15  
Tel: 94-21-11

イタリア人シェフが作る本格ピザを楽しめるレストラン。店員が仮装し、賑やかに出迎えてくれる。

## カフェ

- ・**ラ・ヴィータ** (Ла Вита) ул. Карла-Маркса 76, カール・マルクス通り 76  
Tel: 30-14-27

市内に複数店舗あるカフェ。ケーキや焼きたてのパンがおいしい。ケーキとドリンクについてはテイクアウトも可能である。

- ・**プランターツィヤ** (Плантация) ул. Муравьева-Амурского 36, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 36  
Tel: 79-91-49

映画館「ソフキノ」隣の半地下にあるカフェ。チーズケーキやコーヒーがおいしい。  
ピザや麺類を扱うお店も同フロアにある。レーニン通り、ディコポリツェヴァ通りにも店舗がある。

・**コーヒーリパブリック** (Кофе републик)

ул. Муравьева-Амурского 50, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 50  
Tel:30-00-03

本格的なクロワッサンを楽しめるカフェ。コーヒーだけでなく、紅茶やハーブティー、フルーツティーの種類も豊富でおいしい。ハンバーガーも人気である。

・**Le Nuage**

ул. Комсомольская 79, コムソモリスカヤ通り 79  
Tel:94-04-89

レベルの高いスイーツを楽しめるカフェ。マカロンやエクレアなど、どれも本格的である。

・**デュエット** (Дуэт)

ул.Муравьева Амурского 4, ムラヴィヨフ・アムールスキー通り 4  
Tel:20-98-31

ティファニーブルーの内装がおしゃれなカフェ。スイーツの他、サラダやキッシュなどの軽食もある。コムソモリスク広場に面しており、観光中の休憩にもぴったり。

(了)